

エゾホトケドジョウ

Lefua costata nikkonis

ドジョウ科

名前の由来

エゾホトケともいう。北海道産のホトケドジョウの意。「ホトケ」は、魚名の場合、仏さんでないと食べてくれないほどまずいとか、仏像の頭部のように丸いとかの意味でホトケと名付けられるが、本種はかなり美味しいらしいので後者の意かもしれない。「ドジョウ」は「土生」の意とか、中国での呼び名「泥鰌・泥鰍」の字音に由来するとか、「泥津魚」の意とか、諸説があるが定説はない。漢字名：蝦夷仏泥鰌

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チヨウ

樹木

草花
(在来種)

草花
(外来種)

哺乳類

鳥類
(水辺)

鳥類
(草原・樹林)
ワシ・タカ

特定種

国レッドリスト (2007) …絶滅危惧 I B類(EN)

北海道レッドデータ…絶滅危惧種(En)

形態的特徴

全長7cm。(オスは5~6cm、メスは10cmにも達する) 体色は黄褐色または青褐色で、不明瞭で小さな暗色の点が密に分布。上唇に3対、少し離れて鼻孔付近に1対のヒゲ。尾ビレは丸みがある。

尾ビレの基部に黒色の斑がある。オスには体側に黒いラインが入るがメスは不明瞭。他のドジョウと比べて、体長が短く寸づまっている。

類似種と見分け方

ドジョウ、フクドジョウ。
体側に黒いラインがあるドジョウの仲間は、エゾホトケのみ。但し、メスは黒いラインが不明瞭である。
フクドジョウは尾ビレがバチ型(三角)なのに対して、ドジョウとエゾホトケはしゃもじ型(まるい)。ドジョウはエゾホトケより細長く、尾ビレの基部に黒斑がない。
口ヒゲの数は、ドジョウが10本(5対)、エゾホトケが8本(4対)、フクドジョウが6本(3対)である。



エゾホトケドジョウ。黒いライン、しゃもじ形の尾ビレ、4対8本の口ヒゲが特徴



類似種のフクドジョウ。尾ビレはバチ形、口ヒゲは3対6本



類似種のドジョウ。尾ビレは円く、口ヒゲは5対10本

生活サイクル (産卵期以外はホトケドジョウの資料から推定)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
産卵期						■	■	■				
孵化期						■	■	■				
幼魚期	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
成魚期	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

産卵 寿命不明

一 生

産卵期は5月下旬～7月。産卵場所は水草など。

一生を淡水で過ごす。寿命は不明。

生息環境・分布

湿地帯の流れの緩やかな細流。水田の用水路。一生を淡水で過ごす。

分布：日本固有亜種で、北海道のみに分布していたが、人為的移入によって青森県、富山県にも分布。北海道内では道央、道北、道東、道南に局所的に分布。

食 性

川底の動物性の餌を食べる。

繁殖生態

産卵期は5月下旬～7月。産卵場所は水草など。

産卵期にはオスメスともに追星が現れ、またオスの胸ビレ先端がとがるという。産卵はオスがメスにすばやく巻き付いておこなわれるという。卵は水草などに産み付けられる。

(ホトケドジョウの場合、水温25℃の場合、1～2日でふ化)

他生物との関わり

卵を水草などに産み付ける。

興味深い話

■日本におけるホトケドジョウの仲間には、本州・四国に分布するホトケドジョウと、北海道に分布するエゾホトケドジョウの2亜種がいる。(ナガレホトケドジョウの存在の可能性も報告されている) いずれもドジョウ類としては体が太短く、4対のヒゲのうち1対が前鼻孔の根元にあるという特徴を持つ。また、アムール水系から長江流域までと朝鮮半島に、別亜種の*L. c. costata* が分布する。

配慮事項

湧き水由来の緩やかな細流のある湿原環境が好ましい。落葉や日陰を供給する河畔林も必要であると思われる。畑脇の明渠等にも生息している。

十勝地方では、十勝川水系の河川の中流～下流域に生息する。下流に多い。下流域の畑脇の明渠や堤防脇の堤内排水路にも生息する。



エゾホトケドジョウ

■学名の「*nikkonis*」は「日光(栃木県)産の」という意味だが、新種として発表したJODAN氏とFOWLER氏が標本の産地を勘違いしたためらしい。その後日光での記録は全くない。

■十勝地方のアイヌ語では、ドジョウ一般に「チチラカン」と呼ばれる。

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(水辺) 鳥類

(草原・樹林) 鳥類
ワシ・タカ

参考文献

「山溪カラー名鑑 日本の淡水魚」川那部浩哉・水野信彦 編・監修、山と溪谷社 1989

「北海道の淡水魚」稗田一俊、北海道新聞社 1984

「野外ハンドブック・10 魚 淡水編」桜井淳史 山と溪谷社、1981

「検索入門 川と湖の魚①」川那部浩哉・水野信彦 保育社 1989

「漁業生物図鑑 北のさかなたち」長澤和也・鳥澤雅 編、(株)日本海洋センター 1991

「日本動物大百科 第6巻 魚類」日高敏隆 監修、平凡社、1998
川づくりのための魚類ガイド、北海道河川環境研究会、(財)北海道建設技術センター、2001

「川の生物図典」奥田重俊・柴田敏隆・島谷幸広・水野信彦・矢島稔・山岸哲 監修、(財)リバーフロント整備センター編集、山海堂、1996